




いぶき 第16号
 発行者 原田 英雄
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>



丸亀港より丸亀城を望む

鼻づまり

耳鼻咽喉科副部長 森下 常盤

鼻づまりは日常よく起こる症状の一つです。ひどい鼻づまりがあってもあまり気にされない方も多いのですが、わずかな鼻づまりでも不快に感じたり、いびきの原因など日常生活に影響が出る事もあり、鼻づまりが生活に及ぼす影響は人それぞれに大きく異なります。鼻づまりは多様な疾患が原因となって起こる症状の一つで、耳鼻咽喉科ではその原因疾患を診断し治療を行います。主な原因としては、感染

症、鼻腔の構造的な問題、アレルギー性鼻炎などが考えられます。

感染による鼻づまり

平均的な大人は「いわゆる風邪」を年に2度か3度ひきます。風邪により、鼻の粘膜が腫れて大量の粘液(鼻水)が出てきます。それで炎症が治まるとそれ程症状が起らないのですが、鼻の奥の副鼻腔に感染が広がると、鼻水が黄色や緑色になり副鼻腔炎いわゆる蓄膿症となり、耳鼻科での治療が必要となります。鼻水、粘膜の腫れの他にもポリープと呼ばれる粘膜の腫れが起こることがあり、これも鼻づまりの原因となることがあります。

副鼻腔炎の治療はまず内服治療が行われますが、重症の場合には手術が行われます。鼻内隔彎曲症などで鼻内の通気が悪く

なっているために副鼻腔炎を起こしていることも多いので、鼻中隔の矯正術などの鼻内形態を改善する手術を副鼻腔炎の手術に追加することもあります。

鼻の構造的な問題による鼻づまり

軟骨と骨で出来た鼻中隔が左右の鼻腔を分け隔てており、それが曲がって鼻詰まりの原因になっている状態が鼻中隔彎曲症です。日常生活上、鼻の変形や鼻中隔の彎曲が問題になることはあまりありませんが、鼻呼吸が妨げられているようなら、手術で矯正した方がよいこともあります。当科では入院の上、全身麻酔で行っており、治療効果を上げるために下鼻甲介の手術を追加することもあります。

アレルギー性鼻炎による鼻づまり

ハウスダスト(家のホコリ)、ダニ、スギ花粉、ブタクサ花粉、犬や猫などに対する異物反応として発症したアレルギー性鼻炎が原因で鼻詰まりが起きます。スギ、ヒノキ等は季節性の原因ですが、ハウスダストやカビは一年中症状を引き起こします。理想的にはそれらの物質を避け

るのが最もよい治療方法なのですが、現実には困難です。そこで、当科では抗ヒスタミン剤等を中心とした内服治療や、アルゴンプラズマ凝固装置による下鼻甲介粘膜凝固手術、また、難治性のかたには後鼻神経離断術を行ってあります。アルゴンプラズマはアルゴンガスを介して鼻粘膜に電流を流す方法で、スポット状に粘膜を凝固する通常のレーザーと比較して短時間に広範囲の粘膜を凝固させることができます。1〜2回の治療で済む例が多く、患者様の時間的・経済的負担は少ななくて済むと考えられます。

また、最新治療法として内視鏡下後鼻神経離断術も行っています。全身麻酔下に行い、一週間の入院が必要ですが、通常の

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

有名ですが、他にも「ビタミンE」「カロテン」「カリウム」「食物繊維」「ポリフェノール」などストレスや喫煙の害から私たちの体を守ってくれたり、生活習慣病やがん予防に効果がある

病棟薬剤師って何？

主任薬剤師 増田 玲子

るといわれる成分もたくさん含まれています。一日に80kcal(皮込み約200g)を目安に、旬のものを2種類ぐらい組み合わせる食べ方がおすすめです。

皆さんは、病棟薬剤師をご存知ですか。一般的には、医師が処方した処方箋に基づいて、薬を調剤し、患者さんに説明し、お渡しするのが薬剤師の仕事だと理解されているでしょう。でも最近では院外処方箋といって、薬の調剤を、病院外の調剤薬局へ依頼する病院がたいへん多くなりました。香川労災病院も三年前から全面院外発行となりました。それでは、今私たちがどんな仕事をしているのか、お話ししましょう。

私たちの仕事の中に病棟業務があります。患者さんの入院中に行なう服薬指導が、その一つです。服薬指導を行なう前には、前もって患者さんの情報を把握しなければなりません。病名(状態)、投薬歴、アレルギー、副作用歴、検査値、これか

らの治療方針など、カルテを見て、また医師、看護師から情報を得て、指導内容が構築できま す。もちろん内容も、患者さんの容態、理解度に合わせて話します。服薬開始後は、何回か訪問して、副作用はないか、効果は出ているか観察します。ですから、患者さんとの会話の中で重大な情報を得る事も少なくありません。患者さんがたくさん

お話し下さると、指導も進みます。主治医に話しくい事も、是非相談して下さい。その後、医師、看護師へ指導内容を伝えます。薬の相互作用や重複投与などもチェックして、助言します。患者さんの退院時には、その後続ける薬の使用上の注意点や、副作用の説明をします。薬はきちんと飲み続ける事で効果が現れるのです。入院患者さんを囲む医療チームは、医師、看護師を中心に、薬剤師、リハビリ技士、栄養士といった縁の下の力持ちがいるのです。私達薬剤師は、医薬品に関する専門知識を精一杯活かして、患者さんと接し、治療がより良い方向へ進むよう、そして笑顔で退院されることを願っています。毎日病棟へ出かけていま



● 労災病院周辺で見られる鳥 ●
オオヨシキリ

主任薬剤師・吉村正則

初夏の頃から土器川の旧11号橋の葦原で見られる。葦原という限られた環境に生息するため激減している。スズメよりやや大きく、昼夜を問わず賑やかに「ギョギョシ」と鳴くので俳句では「行々子」と初夏の季語となっている。

診療情報管理室の紹介

診療情報管理士 安西美智恵

診療情報管理室と聞いてもそれは何をするとところ？と思われるでしょうが、何年前までは病歴室と呼ばれていました。職員の方でも、ただ患者様の病歴(外来診療録、入院診療録等...)を保管している部屋としか思っていないでしょうか？私たちの仕事の内容も少しずつ変化してきました。患者様の病歴等の保管、管理、貸し出しはもちろん退院カルテの点検、病名・OP等のコード化、修正、情報入力、検索、統計等作成なども行っています。病名のコード化は、様々な国や地域から、異なる時点で集計された疾病等データの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うために世界保健機構(WHO)が作成した分類でICD10が現在、統計調査に使用されているほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用されています。当院でも昭和58年頃



外 来 診 療 予 定 表

平成17年6月1日現在

診 療 科	時 間 ・ 診 察 室	月	火	水	木	金	
内 科	午 前	一 診	多田	木口	多田	木口	斎藤
		二 診	荒木	永田	三好	荒木	永田
		三 診	寺西	三好	吉永	寺西	吉永
		四 診	山本	岡本	斎藤	山本	岡本
		五 診		水尾			
循 環 器 科	午 前	一 診	曾根	渡邊	中川	水尾	曾根
		二 診	中川(再来のみ)			渡邊(再来のみ)	
	午 後		ペースメーカー			振動	
外 科	午 前	一 診	鶴野	津村	鶴野	村岡	津村
		二 診	村岡	立本	國土	木村	佐藤・内海(隔週)
	午 後		呼吸器 津村		※乳腺 鶴野・村岡		
整 形 外 科	午 前	一 診	森谷	大茂	横山	永井	井上
		二 診	永井	高田	井上	森谷	横山
		三 診	高田				大茂
	午 後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午 前		田村	高田		高田	
形 成 外 科	午 前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳 神 経 外 科	午 前	一 診	藤本	吉野	寺井	藤本	吉野
		二 診	寺井	柚木		平下	
神 経 内 科 メンタルヘルス科	午 前	一 診	中島		中島	中島	中島
		二 診	小山	小山	小山		小山
泌 尿 器 科	午 前	一 診	西	西	水野	西	西
		二 診	水野	倉繁	小武家	倉繁	水野
産 婦 人 科	午 前	一 診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌 検 診	木下	木下	大倉	川田	木下
	午 後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼 科	午 前	一 診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二 診		國土	國土	國土	
耳 鼻 咽 喉 科	午 前	一 診	森下	森下	森下	石川	森下
		二 診	石川	石川	石川		石川
	午 後			小児外来			
歯 科 口 腔 外 科	午 前	一 診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二 診			山田		
麻酔科(ペインクリニック)	午 前	一 診	北浦	戸田	北浦	友塚	北浦
		二 診					小田
ス ト マ 外 来	午 前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳 腺 外 来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健 診 部

日帰りドック……………1日20名 火、金曜日
 一般健診……………1日20名 月、水、木曜日
 脳ドック……………1日1名 月、火、木曜日
 雇入時の健康診断) ……………1日30名 (隔週)水曜日
 定期健康診断

海外派遣労働者の健康診断……………随時
 特殊健康診断……………随時
 振動障害健康診断……………1～3名 金曜日
 健診車による出張健診……………月～金曜日
 丸亀市住民検診……………月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

臨床工学技士をご存じですか？

臨床工学技士 中 公三

あまり聞き慣れない職種とありますが、病院で働く医療技術者の一種です。当院では、3名の臨床工学技士が医師、看護師などとともにチームを組み、次のような業務を行っています。

生命の維持に必要な呼吸、循環、代謝の機能の一部を代替・補助する装置（人工呼吸器、血液浄化装置、高気圧酸素治療装置、循環補助装置、体外式心臓ペースメーカーなどの医療機器と呼ばれる装置）の操作を行っ

ています。我々臨床工学技士はME機器の中央管理室で、院内の輸液ポンプやシリンジポンプなどを一カ所に集めて保守点検・管理を行ったり、病院スタッフが医療機器を安全かつ的確に使用できるように指導・教育なども行っています。

また、より専門性の高い業務にも従事できるよう、透析技術認定士・臨床高気圧治療技師・呼吸療法認定士・在宅人工呼吸器指導者などの資格認定を受け

産業カウンセラーとは

西3病棟 三好志満子
東6病棟 内海 恵子

産業カウンセラーの役割は、働く人びとが、所属する組織や社会の仕組みの中でそれぞれの個性を発揮して、自立した生き方ができるように援助することです。

近年、労働環境は厳しく、働く人びとやご家族の心理的なストレスは高まる傾向にあります。社会的課題として、心の健

康保持と増進の機能を高めていくことが求められるようになります。カウンセリングは産業・教育・医療・福祉など社会のあらゆる分野で活用されています。

当院では勤労者医療を推進しています。日々の看護の中で、話しを聴くことの大切さを感じ、「産業カウンセラー養成講



っており、よりよい医療サービスを提供できるよう日々研鑽しております。

以上、臨床工学技士について簡単に紹介させていただきました。

座」を受講しました。その時に、カウンセラー役の人に自分の悩みを聞いてもらうことで、気持ちが整理され、心が少し軽くなった体験をしました。

働く人に限らず、通院や入院される患者様には、さまざまな不安や心配があると思います。私達は、患者様の心の健康にも目を向け、安心して療養できるような環境を作るために、これからも聴く姿勢を大切にしていきたいと思えます。病棟で仕事をしておりますので、いつでもお気軽に声をかけてください。

リハビリテーションの変遷

リハビリテーション科

多田羅 昭二

私が理学療法士の職に就いて28年になります。その当時は骨関節系疾患を中心とするリハビリテーション（以下リハ）が展開され、発症から家庭復帰、職場復帰まで一貫したリハを目指していました。しかし、当院が増改築されるのと時を同じくして、病院そのものが機能によって分類される時代へと移行し、それぞれの病院、施設間で役割を分担し合うようになってきました。リハも同様で急性期のリハを行う病院、回復期のリハを行う病院、維持期のリハを行う施設に役割分担が進められています。

当院リハ科では入院後早期から術前、術直後を含めた急性期のリハに取り組んでいます。患者様に安心して回復期、維持期のリハへとつなげて頂く為に、院内でのチーム医療の充実は当然として、地域の関係病院・施設との密接な連携、情報交換を行っています。

当院は県より地域リハ拠点病院として中讃地区地域リハ支援センターの指定を受け、地域リハの発展に病院をあげて取り組んでいます。

もう一つの新しい取り組みは、勤労者に対する予防リハです。以前より欧米では勤労者の突然死が問題視され、近年わが国でもその原因となる生活習慣病が大きくクローズアップされています。当院リハ科では、生活習慣病になる危険性のある患者様に運動の個別指導を通してこまやかな治療を実施しています。

「働く人々や地域の人々の為に」を合い言葉にスタッフ一同、日々努力しています。リハに関するご質問、ご相談がございましたら、是非ご連絡下さい。

検査科の紹介

検査科部長 溝淵 光一



多くの病気やけがで、臨床検査なくしては正確な病態把握はできないといえるほどです。

当院検査科では延べ数(色々な検査の総和)一日当たり五千件程行っています。検査室に従事する臨床検査技師は、正確・迅速をモットーに信頼される検査を目指しており、よりよい検査結果が得られるように日々努力しております。また、直接、患者様に接する機会

臨床検査は、病気の原因を調べたり治療の効果をみるために行われます。検査は大きく2種類に分類されます。一つは身体の働きをみるための生理機能検査です。もう一つは血液や尿などの成分を分析する検査で、検体検査といえます。いずれも大変多くの種類の検査がありますが、目的に応じていくつかの検査を組み合わせて行われます。現代の医学では、臨床検査の重要性はますます高まっております。

研修医紹介

臨床研修医 前田 和茂



季節が過ぎていくのは早いもので、医師国家試験に合格し香川労災病院に研修医としてやっ

て来てから一年が経ちました。右も左も分からなかった一年前と比較して、少しは成長したのかと自問を繰り返す今日この頃です。平成16年度から導入されたスーパーローテーションというシステムのため、2年間は内科・外科を中心に様々な科で研修を行っています。この一年間に内科を6ヶ月間、麻酔科・外科をそれぞれ3ヶ月間研修してきました。残念ながら去年の研修医は私一人だったのですが、それぞれの科で指導医の先生方やスタッフの方々に熱心に指導していただき、また医師として患者様と触れ合うことで、充実した研修生活を送れたと思っ

ています。2年目となる今年は、自分自身の目標も新たにし、何よりも香川労災病院のスタッフの一員として、地域の皆様により一層貢献していく事が出来るように努力していきたいと考えています。

お知らせ

- ◆糖尿病教室◆
 - 7月1日(金) 15時～16時
 - 糖尿病について
 - 岡本 Dr 栄養相談室
 - 7月8日(金) 15時～16時
 - 糖尿病について
 - 岡本 Dr 栄養相談室
 - 7月15日(金) 14時～15時
 - 運動療法
 - 理学療法士 第2会議室
 - 7月22日(金) 15時～16時
 - 糖尿病について
 - 岡本 Dr 栄養相談室
- フットケア
 - 看護師 栄養相談室
- 労災病院公開健康講座
 - 6月23日(木) 13時30分～15時
 - 「人によさしい手術」
 - ・腹腔鏡手術
 - 立本第2外科部長
 - 七タロビーコンサート
 - 7月7日(木) 15時～16時
 - プサルター響の会
 - による演奏

編集だより

患者サービスマス向上委員会

横山 良樹

今年には桜の開花が例年より遅く、開花期間も短くあまり楽しめなかった方も多いかも知れません。また、例年にない花粉にて花粉症に悩まされた方も多いかと思えます。

「いぶき」も今回の発行で16号となり、4年が過ぎました。号を重ねるにつれて、少しずつ充実し、患者様からのご希望にそえるようにはしていますが、如何でしょうか。愛読書として充実したいと思っておりますので、取り上げて欲しい題目があればどしどし投書なりして下さい。